

Vol.051

尚 和 会 会 報

2003

平成15年5月1日



同窓の輪を拓げる いま、ふたたび



尚和会総会のご案内

平成15年5月18日(日)

ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎ 06-6849-1111)

- 総 会 オーキッドホール 12:00~12:30
- 立食パーティー オーキッドホール 12:45~15:00
- アトラクション ヴァイオリン演奏 幸田 聡子(高40期)
お楽しみ福引き



幸田聡子さん

高校40期卒業・豊中市蛍池出身

1993年、東京芸術大学を卒業。3才からヴァイオリンを始め、81年全日本学生コンクール小学校の部で西日本第1位入賞。84年、ポーランドのヴィニアウスキー・ジュニア・ヴァイオリン・コンクールで、テレマン特別賞を受賞。89年日本モーツァルト・コンクール入選。96年東京、大阪、京都でのリサイタルが、高く評価されて、青山音楽賞を受賞する。

- 会 費 4,000円 (99年以降の卒業生 2,000円)

発行——尚和会 ・発行責任者 田中 渡 ・編集責任者 大昌 光昭



尚和会の活性化を 求めて

尚和会会長

田 中 渡

新緑の輝く候を迎え、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。尚和会の活性化を求め、今年度から会報を卒業五年毎に無料配布を行うことになりました。五年前に財政の健全化を願ひ、会報有料制をとりました。皆様のご協力のもと安定した収支決算をご報告できるようにしました。

また、クラブ活動費助成金制度もとりました。在校生諸君の課外活動で顕著な成績をおさめた折には、その活動費の一部を補填することになりました。

尚和会として母校の発展に寄与するとともに、若い世代の会員諸氏から前向きな意見と活力を得て、会員相互の情報交換することにより尚和会の新たな展開を期待します。



桜塚高校の近況

桜塚高校校長

長 瀬 尚

尚和会会員の皆様には日頃何かとお力添えいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

さて、母校の近況ですが、生徒たちは皆様が培ってこられた伝統である、「勉強

と部活動、生徒自治会活動などの自主的活動を両立させた密度の濃い高校生活を通じて『知力』『体力』『人間性』共バランスの取れた人格を陶冶する校風』を受け継ぎ、充実した日々を送

つています。

全日制課程ではここ数年国公立大学や難関私学への合格者が増加しており、学習面でのがんばりがよく反映されています。部活動でも陸上競技部と卓球部が近畿大会に出場し、野球部が春季大会で府下ベスト四に進出するなど運動系文化系を問わず素晴らしい実績をあげています。

昨年度は本校としては初めての海外修学旅行が実施され、十二月十一日～十五日の日程で五六期生がシンガポールを訪れました。私も引率に加わりましたが担任団の努力で充実したプログラムが用意され、大変好評でした。特に、現地での生徒も例外なく、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしていたことには感心しましたし嬉しく思いました。スムーズにコミュニケーションができた生徒もそうでなかった生徒も、近い将来国際的な舞台で活躍するうえでのよい経験になったことと思います。また、行く先々でガイドさんやスチュワーデスさんに『こんなマナーがよく整然とした高校生は初めてです。さぞ名の知れた学校でしょうね』などと、ずいぶん褒めてもいただき

ました。

定時制課程でも文化祭、部活動、沖縄修学旅行など生徒たちはそれぞれに学校生活を楽しんでいます。昨年度は学校協議会を二回開催し、本校教育の課題や今後のあり方について、有意義なご提言をいただきました。会員の皆様の定時制教育への思いの深さには頭が下がります。

本校や大阪府だけの問題ではないとはいえ、戦後六〇年になろうとし、社会構造や産業構造の激変により定時制高校の役割が、本来の勤労青少年への教育保障という姿から大きく変質していることに、必ずしも十分には対応しきれていないことを申し訳なく思っています。

二十一世紀を迎えたというものの明るさは未だ見え、特に経済情勢はむしろ厳しさが増しているようです。生徒たちに『遅く生きたる力』がますます求められていくことを、我々教職員はしっかり認識する必要があります。

会員の皆様におかれまして、くれぐれもご自愛のうえ、一層ご活躍されることを心より祈念申し上げます。

定時制の改革

桜塚高校定時制教頭

森 尾 俊 三

尚和会の皆様には、いつもお世話になりました。誠にありがとうございます。

平成十五年度の入試から、定時制課程の入試日が、全日制の入試と同日になりました。定時制を第一に希望する人が入学できるように配慮されています。学校教育審議会答申により、

「府内公立中学校の三年生に対する進路希望調査（平成十一年十二月実施）によると、定時制の課程を希望する生徒は、全体の〇・八％であるが、実際に入学している生徒は二・四％となっている。これは、定時制の課程の入学者選抜が全日制の課程の可否が判明した後実施されていることから、全日制の課程に入学できずに、やむを得ず定時制の課程に入学していることが主な原因と考えられる。」と分析しています。

また、今後の夜間定時制の課程のあり方について、「昼間に働きながら高等学校に入学を希望する生徒のほか、様々な目的や事情により夜間に就学することを希望

する生徒など、夜間という条件の中で目的意識をもって学習し、卒業資格を得ようとする生徒の就学の場となる。」としています。

定時制改革は今年の夏から本格化します。定時制は、社会における産業構造の変化の影響を受け、学校のあり方も、大きく変わってきました。新しく中学校を卒業しても就職できない社会ができていき、さらに高校についても企業が採用を控える状況ができています。

定時制高校が、勤労青少年に対して重要な役割を果たした時期から、学校の役割も随分と変わりました。一方、新たな社会の変化に対応するため、生涯にわたり学習を続けることが求められています。定時制課程が、変化する社会状況の中で、どのように位置付けられ、社会の要請に応え、どのような役割を担っていくのか。これからの改革にご注目ください。桜塚高校定時制では、保護者の方に学校の様子を知っていただく機会を作っています。

平成十四年度から、六月と十一月に、保護者懇談日を含め、一週間の授業公開を行っています。また、文化祭は、例年十月中旬に開催しています。学校教育の様子を知っていただくことができます。

二月には、生徒・保護者人権教育講演会を開催。豊中市立障害者福祉施設ひまわり障害者相談員の岩崎剛氏（ソウルパラリンピック・スラローム銅メダリスト）の感動的な講演で、車椅子バスケット実技体験など、有意義な学習ができました。クラブ活動では、バドミントン部四年生の今中徳一君



平成十四年度定時制第五三回
卒業授与式に出席して
定時制振興会会長
岡 島 勇

背に暖かい、早春の陽射しを浴びながら歩く、川筋の小径にも、草々に混じって可愛らしい土筆の坊やが、あちこちに小さな頭をもち上げて、春の様子をうかがっているこの時節に於いて、平成十五年二月二十八日（金）午後六時より、本学体育館にて、大阪府立桜塚高等学校定時制課程の第五三回卒業証書授与式が

が大阪府代表で全国大会に出場、団体戦三位に入賞。また、定時制通信制生徒秋季発表大会芸能部門で、演劇部が、「壬生義士伝」を発表し、定時制通信制教育振興会長賞を獲得。同じく秋季発表大会工芸部門では、四年生山下武徳君がコーヒークップで奨励賞を獲得。在校生の皆さんも頑張っています。また、この四月に四年制課程の男子三九名、女子一〇名、三年制定通併修課程男子九名、女子六名、合計六四名が尚和会の会員に加えていただくことになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

行われました。四年課程・三年課程、併せて六四名（内訳：四年課程、男女四九名 三年課程、男女一五名）の方々が卒業されました。卒業生の皆様の中には、働きながら学び続けた人や、それぞれ困難な状況の中で、くじけずに学び続けて来た方々も少なくありません。この目出度い良き日を迎えることができたことは、

皆様方の努力の賜物であると共に、学校当局を始めとして、関係者の方々の、ご協力があったからだという事を忘れてはなりません。皆様のご卒業されて数日後、定例学校協議会が、本学校長室にて開催されました。その時、学校側から、第五三期・卒業の文集「巣立ち」B五判七八頁 soft cover、2003 spring 号が皆様に配布されました。この文集を作成するにあたり、編集担当の方々の苦勞や完成した時の喜びが思い出され、貴重な体験をし、素晴らしい学校生活であったと思います。また、後輩に対して一つ大きな置き土産を残されたことに、大変感激いたしました。卒業生の皆様、今後、尚和会・振興会会員になられますが、この感激を忘れず、明日からのエネルギーとして人生目標に向かって進んで下さい。ご多幸をお祈りいたします。

末筆になりましたが貴尚和会のご発展をお祈りいたしますと共に、振興会にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



◆学校だより◆

進路状況報告

進路指導部長 熊野 純

本校生の進路希望のほとんどは男子・女子を問わず

四年制大学進学ですが、ここ数年、より難易度の高い大学への進学を目指す生徒が増加してきました。ほんの数年前までは、関関同立と呼ばれる関西の難関大学を受験する生徒の数はクラスの中で数名、一〇名程度でした。それがここ一、二年はクラスの半数近くが関関同立大、あるいは国公立大学を受験するという状況になってまいりました。それにつれて、これら難関大学への進学者数も確実に増加し、昨年度は関関同立大に一〇〇人以上、甲龍産近大にも一〇〇人以上、国公立大に三〇人以上の合格者を出すことができました。こうした難関大学を目指すという生徒が増加してきた背景には将来に対する漠然とした不安感が本校生の中にも大きくなってきていると言えらると思います。

立大に三〇人以上の合格者を出すことができました。こうした難関大学を目指すという生徒が増加してきた背景には将来に対する漠然とした不安感が本校生の中にも大きくなってきていると言えらると思います。

本校初の
海外修学旅行
第 孚年主任 高橋 俊行
十二月十一日～十五日シンガポール修学旅行に五六期生は、行ってきました。桜塚高では初めての海外修学旅行で何かと大変だったのですが、主担の先生を中心に先生方の協力と生徒のパワーで、想い出に残るものとなりました。英語を使

出口の見えない不況、日本の将来に対する不安、学力低下が憂慮されている大学生、そうした時代の中で、桜塚高校を卒業していった生徒たちが自らの力で人生を築き上げていくことができるよう、進路指導部では単なる受験指導に終わらないように気をつけながら、本当に行きたい大学はどこなのか、本当にしたい勉強は何なのかということを一

年の時から考えさせるような指導を行っています。なお、二〇〇二年春の進路状況（主な四年制大学）は左表の通りです。

進路参考資料

国公立大	人数	主な私立大	人数
秋田大	1	関西大	60
筑波大	1	関学大	29
静岡大	1	同志社大	9
富山大	1	立命館大	16
金沢大	1	甲南大	44
福井県立大	1	龍谷大	21
愛知県立芸大	1	京都産大	12
京都工繊大	1	近畿大	35
大阪大	3	京都外大	10
大阪外大	3	京都女子大	7
大阪教育大	3	同志社女子大	7
大阪市立大	3	佛教大	7
兵庫県立看護大	1	追手門大	16
神戸商科大	3	大阪芸大	7
姫路工大	2	大阪工大	23
和歌山大	1	関西外大	5
奈良教育大	1	梅花女子大	8
岡山山	1	甲南女子大	9
広島大	1	武庫川女子大	17
広島県立大	1		
鹿児島大	1		
琉球大	1		



間を守り規律ある行動で現地のガイドさん、ホテルの方など、感心してくださいました。また交流会でお世話していただいたシンガポールの大学生の何人かが、桜塚高生を気に入って「自宅に案内して手料理を作ってくれる」ということもありました。今までシンガポールを訪れる日本の高校生をあまり良く感じていなかった大学生の印象を変えるほどでした。また日本に帰ってからインターネットで交流を持っている生徒もいます。修学旅行委員会を中心にコース設定などをして、各自がコースを選ぶ、そして自由な時間は自分で地下鉄やバス、タクシーに乗って移動する、という試みも成功し、生徒の素晴らしさを痛感した五日間でした。

「先生らだけずるい！」

第三学年主任 上山 望
教室でのストーブ使用が

許可されていない日の休み時間に準備室に入ってきた生徒が目ざとく火の入ったストーブを見つけてそう叫んだ。ある先生が「君たちは若くて今日の寒さくらい何ともないだろうが、先生らは年寄りばかりでこたえるんやから」と言うのと、先ほどの生徒は「それもそうです」とあつさり引いてしまった。このやりとりを傍らで聞いていて寂しさを味わったのは私一人であろうか？ 要するに、かくも我々（教師たち）は「年寄り集団」なのだ。「そんなことないですよ。先生方もまだまだ若々しくて元気そうなんだから、やつぱりずるい！」といったような対応を期待する自分がそこにいた。

すから、対教師としての関係だけでなく、同じ保護者同士としての感覚でのお付き合いもよろしく願います。きつと理解し合えると思います」などと発言しました。

そのとき脳裏には齢を重ねていることに対するブラッス面に重点を置いていたが、そううまくはいきませんでした。これは私だけかもしれないが、計算間違いが多い、連絡事項を伝え漏らす、いろんな物を置き忘れていつも何かを探しているなどなど自覚できることだけでも枚挙に暇がありません。もちろんこれらすべてが「年のせい」ということでもありませんが、とにかくマイナスマ面を大いに味わいましたが、その度に心優しい生徒たちのおかげでそれほど惨めな思いはせずに、今日まで来させていたいただいたこと、心から感謝しています。

その優しい生徒たちも、はや卒業の時を迎えました。それぞれが自分の道を見つけて活躍することを期待し、陰ながら応援し続けたいと思っています。

● 母校 クラブだより ●

野球部

顧問 和田 充司

二〇〇二年を振り返って

八回裏。この回からリリーフのマウンドに立った本田修平が、大阪桐蔭の四番・西岡君に投じた渾身のストリートは、次の瞬間、矢のような速さで藤井寺球場のライトスタンドに突き刺さっていました。まったくもって敵ながらほれぼれするような打球でした。昨年五月十二日、春季近畿大会大阪府予選準決勝での一場面です。しかし、秋にはロッセにドラフト一位指名されることになる西岡君の打撃もさることながら、背番号一をもらえない悔しさをぶつけるかのように、彼らしい真つ向勝負を挑んだ本田修平を、監督として今も誇りに思っています。

また、この時スタンドで応援する部員たちや一般の生徒を率いていたのは三年生の笠井訓行でした。この大きな舞台に立てないという現実に対する葛藤を振り払い、懸命に、応援団長としての務めを果たしています。

した。皆をベンチと同じ気持ちにというのがその務めです。ホームランにとどめを刺される形でその試合に敗れた時、彼の悔しさはベンチ入りしていた選手以上のものだったかもしれません。

ラグビー部

顧問 渡辺 宗治郎

私たちは人間の本能として身体活動、いわゆるスポーツに達成感や充足感をかよりの部分期待を抱いています。「条件さえ揃えば身体を動かしたい」と思っている人も多いことでしょう。高校生の価値観が多様化している学校生活においても、部活動の位置づけと入部の条件が大きなポイントになります。「やらされるよりやる部活」をめざして本校のラグビー部の活動理念は部員の自主的運営により、楽しく安全にゲームを経験することにあります。上級生が自分たちの状況に応じて目標を持ち、活動内容を考え組み立てていきます。年間の活動としては約二〇回の練習マッチと、八月の夏期合宿で連帯感とチーム力を高めます。準公式戦として北摂地域のセブンズ大会（十二月）、



また兄弟校である府立池田高校との定期戦（四月）も今年で一〇回目を数え、OBも交えてのイベントになっています。もちろん公式試合（一月、四月、九月）にはフルラグビーの部に単独チームで出場することが第一目標になりますが、これが容易なようですが顧問、現役部員にとって最大の課題といえるでしょう。戦績は特筆できないものの、一年を通して満足のいく内容となっています。

週休二日制の導入が定着するか否か予測のつかない部分が多いなか、物理的にはゆとりの時間が増した反面、生徒たちが自分の時間を自分で決めた目的に活用する環境作りは不可欠になると思います。部活動自体が過渡期になった今日、文武両道を成し遂げることの価値も曖昧になってきています。いろんな事情を抱えた生徒たちに対応すべく今後も部員とともに考えながら余暇を充実させたいものです。

陸上部

マネージャー 大石 真奈美

陸上部は男子二人、女子八人、マネージャー四人で毎日放課後練習をしています。十一月、一月にあつた駅伝では長距離のメンバーたちがチームを組み、一本のタスキを最後までつなぎました。冬にはシーズンオフとなる短距離は今ほ筋トレを中心とするメニューで体力づくりに励んでいます。最近ではサッカー、女バレ、男バレとも一緒に練習をし、土曜には他校の陸上部との合同練習も行いました。

四月からは記録会が毎週土日あり、五月初めにはインターハイ地区予選、六月に中央大会、夏休みには合宿、そして総体。地区の記録会なども合わせると年間の試合数は結構多く、その中で選手たちはそれぞれの目標に向かって精一杯がんばっています。

部長の熊谷君が立てた今年の陸上部の目標は「GO! インターハイ」。

新入部員も入ってくる四月、この目標を目指していつそう気をひきしめていきたいと思っています。

男子バレー部

顧問 古橋 美知子

現在二部。一部昇格を目標に練習をいたしております。

今年度の三年生（五五期生）は、中学校での経験が無い生徒がほとんどでしたが、キャプテン北里君がチームをまとめてくれました。すばらしいチームになりました。エースアタッカーに成長した杉澤君・センターブロックの要を務めてくれた馬場君・攻守の軸になった中村君・リベロで守りの中心になった羽根君と川舟君・チームがピンチの時に入江君・ムードメーカーとして正月君・金納君・吉田君、そしてマネージャーの佐藤さんと永田さん。真面目にコツコツと積み上げて強くなっていく、努力することの大切さを学んでくれたチームだったかと思っています。

次年度（五六期生）のチームは大型の攻撃型のチームに育ちつつあります。新キャプテン南君・副キャプテン高島君と山田君率いる新チームに期待したいと思います。

先日、五二期生と五三期生の卒業生が練習相手に来てくれゲーム形式の練習ができました。白熱した試合は、新チームにとつてとてもプラスになりました。（卒業すると皆、上手になるのはどうしてだろう。）

現役生も、じきに卒業し先輩として後輩の指導にきてくれるだろうなと思いましたが、バレーボールの楽しさを技術や戦術の学習とともに学んでもらえたらと願っております。

女子バレー部

顧問 伊藤 将史

昨年度は、四月に行われた部別大会で、私たちは大きな自信と成果を得ることができた。四チームのリーグ戦で行われるこの大会は、各部に残留するよりも、昇格することのほうが何倍も難しい。なぜなら、同じような実力が集まったチームの中で一位にならないければいけないからである。そして、二部であった私たち、全勝を目標にし、結果、全勝で一部昇格をすることができた。最大の山場であった二試合目は、特に素晴らしいプレーの連続であった。流れを変えたブロック、大事な場面でのアタック、チームに勢いをつけたサーブ、安定したレシーブとトス、そしてチーム全体のムード、すべてがまぐれではなく、これが実力であるといふことが実感できた。私自身も興奮し、感動した。思わず涙も出そうだった。

続いて行われた豊能地区大会では、「優勝」を目標に望んだ。しかし、三位に終わった。チャンスはあっただけに、非常に悔しい思いをした。

五五期生最後の近畿大会予選の相手は一度負けている相手であった。一セット目は、気合い十分であったが緊張しすぎたため力を出せずにセットを失った。二セット目は、落ち着きを取り戻し本来のプレーが出たが負け、一回戦敗退であった。五五期生にとってはこれで最後となったが、彼女たちの努力、気持ちは素晴らしい。貴重な経験をしたと思う。これらのことは、これで終わらせることなく、これからも生かしていくてくれることを期待する。

それ以降は、新チームがスタートした。戦績は、三大会を通し一セットも取れないという時期を過ごした。それでも、部員たちは持ち前の明るさで意欲的に練習をこなしていた。そして、春高バレー予選で念願の初勝利をやつと手にした。内容も非常によく、私も久しぶりに興奮した。

これから、まだ不安なところはたくさんある。しかし、考えて意味のある練習をし、どこにも負けない活動内容で、これから、彼女たちが飛躍するであろうと思っている。

女子バスケットボール部

顧問 高橋 俊行

今年度もケガ人が多く出て、思うような成績を残せなかったのですが、部員一同目標を持って練習をしています。平成九年度から新入大会は連続して中央大会に出場しており、安定した結果は出しているのですが、もう一つレベルアップしたいと思っています。

昨年度から豊中の中体連バスケットボールからの依頼で講習会を六月、十一月と開き、部員が中学生を教えたり、平成九年から「練習会」という名前で桜塚高校で中学生と一緒に練習をしています。多い時は五〇人を越し、体育館が一杯になります。

また卒業生も第一線で四人が活躍しており、インカ

レを指して練習してお
り、バスケットの仲間が
徐々に増えております。

女子ハンドボール部

顧問 村尾 亮

桜塚高校で女子ハンドボ
ール部の顧問を務めるよう
になってから、早いもので
もう一年もたつてしま
いました。つまり四五期生か
ら五七期生まで、その間
の部員総数は約一五〇人ほ
どになります。

私は前任校でも一四年間
ハンドボール部の顧問をし
ていましたが、転勤する最
後の年には部員はたった三
人になり、事実上廃部状態
となっていました。そんな

中、桜塚高校に転勤してき
て驚きました。各学年の部
員がそれぞれ二〇人近くお
り、三年生が引退する五月
中旬までは総勢五〇人ほど
で練習するのです。その上
当時は男子部も盛況でした
から、女子部員五〇人は二
〇メートル四方の半コート
内にひしめき合っておりま
した。危ないから「全力で
走るな」「ボールを思いっ
きり投げるな」と注意しな
ければならないような状態
でした。

その後、部員数の増減も

あり、公式戦で一勝もでき
なかった年や府下ベスト八
で近畿大会まであとひとつ
(実はこの壁が大変厚い
のですが)まで迫ったことも
あり、強弱いろいろありま
した。全国から優秀選手を
集めている強豪私学は別
にして、同じ条件の府立高校
には負けたくないという部員一
同考えていますが、ここ数
年、大体この目標は達成で
きています。

大阪高体連に加盟してい
るハンドボールチームは数
年前より激減しています。

特に男子は惨憺たる有り様
で、豊中・池田・桜塚・東
豊中は壊滅し、千里と刀根
山が風前のロウソクです。

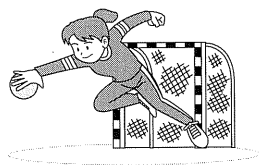
男子の場合は野球・サッカ
ー・アメフトなどに生徒が
とられ、ハンドまで部員が
回ってこないという事情が
あります。これら人気クラ
ブのない女子はまだなんと
か部員が確保できています
が、それでも年々チーム数
は減少しています。

ただ、私たちが中央大会
に進出した・ベスト八にな
ったと自慢すると「参加チ
ームが減ったからだろう」と
よく言われますが、人数
不足でつぶれていくチーム
はそもそも一勝もできなか
ったような弱小チームなの
ですから、減っても関係あ

りません。つまり下位チー
ムからつぶれていき、上位
の強豪私学は安泰です。こ
れはちやうど受験生が減っ
て短大や女子大が定員を割
って潰れていっても、ブラ
ンド校と呼ばれる人気大学
の競争率は落ちないことに
似ています。

ハンドボールのようなマ
イナー競技では高校のクラ
ブ活動以外で見たり・やっ
たりする機会はほとんどあ
りません。それゆえチーム
存続のためには専門の指導
者の存在が不可欠です。前
述のチーム消滅の原因の多
くが専門の顧問の転勤でし
た。北野・箕面がなんとか
存続しているのは二〇年以
上続いているOBコーチが
いるからです。

私が転勤した後、専門の
顧問が来てくれればよいの
ですが、さもないければ昭和
十六年から六〇年以上の歴
史をもつ桜塚高校女子ハン
ドボール部もその幕を閉じ
ることになりそうです。



教職員人事異動 (平成十五年度)

全日課程

退職

金丸 義和(事務部長・
事務)

(商工労働部・雇用推進
室 雇用対策課)

田中 靖二(教諭 社会
)

(桜塚高等学校 非常勤
若年嘱託員)

転任
小原幸四郎(教頭
)

(茨木工業高等学校 校
長)

小野満由美(教諭 国語
)

(渋谷高等学校 教頭)

植木 正勝(教諭 理科
)

(寝屋川養護学校 教頭)

文珠 正子(教諭 国語
)

(茨木東高等学校 教諭)

浅沼 佳典(教諭 社会
)

(住之江高等学校より
近藤 卓夫(教諭 書道
)

(布施北高等学校 教諭)

土井 唯司(教諭 体育
)

(桜塚高等学校 定時制
教諭)

木谷 孝志(教諭 英語
)

(西野田工業高等学校
教諭)

増田 美弥(実習助手
)

(千里高等学校 実習助
手)

着任
小久保勝司(事務部長・
事務)

(教育委員会 福利課企
画・経理グループより)

友田 芳子(教頭
)

(山田高等学校 教頭より)

後藤佳子(教諭 国語
)

(豊島高等学校より)

石田 誠(教諭 国語
)

(箕面東高等学校より)

上田 真(教諭 国語
)

(北千里高等学校より)
木保 恒雄(教諭 世界史
)

(福井高等学校より)

津田 剛(教諭 物理
)

(天王寺高等学校より)

来住 隆一(教諭 書道
)

(高槻北高等学校より)

上田 洋也(教諭 体育
)

(能勢高等学校より)

津田 康裕(教諭 英語
)

(少路高等学校より)

山中 義範(教諭 英語
)

(西淀川高等学校より)

西川千佳子(実習助手
)

(布施工業高等学校より)

桂 壽一(教諭 数学
)

(桜塚高等学校 再任用)

山東 篤(主査 事務
)

転任
佐藤 陽二(教諭 政経
)

(鳳高等学校 定時制)

風間 靖(教諭 体育
)

(北千里高等学校より)
薄木 鈴江(課長補佐・
事務)

(高槻北高等学校 事務
長)

着任
中山ゆかり(教諭 世界史
)

(箕面養護学校より)

和泉谷行男(教諭 数学
)

(春日丘高等学校 定時制
より)

園山 哲夫(教諭 化学
)

(渋谷高等学校より)

土井 唯司(教諭 体育
)

(桜塚高等学校 全日課程
より)

桂 壽一(教諭 数学
)

(桜塚高等学校 定時制より)

小川 勇蔵(教諭 数学
)

(吹田東高等学校より)

工藤 喜一(課長補佐・
事務)

(西野田工業高等学校より)

尚和会平成十五年度 役員紹介

会長 高一 一期 田中 渡

副会長 定七期 岡島 勇

高一 一期 吉田 和久

高一 二期 安浦 果

高一 三期 細川 和彦

高一 四期 大島 光昭

高一 五期 吉田 裕理子

高一 六期 秋山 日東志

高一 七期 吉田 友子

高一 八期 久瀬 恭子

高一 九期 井上 真一

会計 高一 二期 吉田 友子

会計 高一 二期 久瀬 恭子

東京支部長 高七期 井上 真一

平成十四年度

新年理事会について

行事担当副会長 岡島 勇

平成十五年一月十九日
(日)に、歌劇と湯のまち
宝塚、ホテル若水において
新年理事会が開催されまし
た。当日五七名の方々のご
出席を賜り、大変ご多忙中
の折、厚くお礼申し上げます。

さて理事会・評議会にお
いての業務執行について
は、まず学校当局始め、会
員皆様のご協力とご指導な
くして進めることができま
せんので、今後とも何卒宜
しくお願い申し上げます。

先般、全日制の授業参観
を視察させていただく機会
がありました。学生の勉強
状況はどうであるか、教え
る側と教わる側との関係は
円滑であるかどうかなど、
非常に興味深く拝見するこ
とができました。多逢勝因
「よい人に交わっていると、
知らないうちに、よい結果
に恵まれる」人間には縁と
いうものがあり、これは最
も大きなことで大事に育て
ていくことが重要であり、
尚和会ではこうした皆様と
お会いできる幸せを、今後
とも大事に育てて行きた
く存じます。

平成14年 物故者名

(平成14年1月1日～12月31日まで)

旧職員	白銀 茂夫	14	1	6
武井 錠一		14	6	25
女一期	中野 好子 (木谷)	14	4	7
野崎 由 (阿部)		14	10	
畑山恵美子 (岸本)		14		
女二期	佐野栄規能 (西川)	14	3	5
女三期	井上 敦子 (田辺)	14	7	

女四期	安松 和子（畠山）	14・3・16
勢井千恵子（白地）	14・8・9	
女七期	間嶋 紀子（大野）	14・1・14
中川 幸子（山庄司）	14・2・19	
早川 芳子（岡野）	14・4	
岡田喜久子（小林）	14・9・9	
和田 英子（中川）	14・9・28	
高橋 基子（八木）	14・10・30	
片山 睦子（大鹿）	14・12・10	

高四期	福士 香織 (藤井)	14	10	13
紀	道子 (上本)	14	11	
高九期	新家三知子 (一階)	14	3	7
野々宮	守孝	14	11	
多田	徹之	14		
高十期	大島 廣子 (阪本)	14	2	24
高二期	武田 俊男	14	6	21

高二期	谷本 光一	14	8	28
高一六期	正田 郁子	14	1	20
	野村 頼子	14	8	
	倉賀野 勲	14	10	3
定七期	大道 宗隆	14	6	

（尚和会宛に報告のありました方のみ掲載。）

上記の旧職員・武井錠一先生の奥様、
武井勝子様より、弔電会葬参列に対し、
丁重なるお礼状とともに、尚和会のお
役に立ていただければとご芳志を頂
戴いたしましたので、協力金として納
入させていただきました。

尚和会会員数 (単位:人)

	高女 1期~8期	併中 1期~2期	高 1期~55期	定 1期~53期	定通併修 1期~3期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合 計
会 員 数	2,061	229	25,423	4,078	22	673	39	22	32,547
物 故 者	325	18	567	80	0	133	0	0	1,123
住所不明者	223	31	5,292	1,944	2	165	0	0	7,657
住所判明者	1,513	180	19,564	2,054	20	375	39	22	23,767
判 明 率	89.2%	86.5%	79.2%	52.3%	90.9%	75.5%	100.0%	100.0%	76.5%

尚和会 平成14年度決算報告・15年度予算

【収支決算】(自:平成14年4月1日 至:平成15年3月31日) (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差引過不足	備 考	15年度予算
収入の部					
入 会 金	1,666,000	1,660,000	0	415名x4,000円 (全357, 定58)	1,672,000
会 報 年 会 費	1,000,000	1,190,000	190,000	1,190名	1,200,000
尚 和 会 協 力 金	2,000,000	1,615,739	▲384,261	664名	1,800,000
広 告 収 入	60,000	0	▲60,000	会報広告掲載無し	60,000
利 息 収 入	10,000	3,270	▲6,730		1,595,000
雑 収 入	0	80,000	80,000	名簿販売	0
計	4,730,000	4,549,009	▲180,991		6,327,000
支出の部					
事 務 費	100,000	60,302	39,698	事務用品、名札代	100,000
振 込 手 数 料	100,000	80,200	19,800		100,000
通 信 ・ 交 通 費	300,000	348,477	▲48,477	葉書、宛名シール、切手代、東京出席他	300,000
会 合 費	300,000	327,546	▲27,546	理事会及び各委員会会合費	300,000
慶 弔 費	100,000	85,659	14,341	学校行事お祝い、弔電他 9件	100,000
会 館 維 持 費	30,000	0	30,000		30,000
卒業生記念品代	50,000	49,665	335	卒業証書入れ430本 @110円	50,000
会 報 発 行 費	1,300,000	1,045,328	254,672	6,000部	2,000,000
総 会 費	700,000	683,965	16,035	アトラクション、雑費	700,000
東京支部援助金	150,000	150,000	0		150,000
同期会開催助成金			0		400,000
助成金・予備費	400,000	250,000	150,000	同期会開催支援金5件	1,700,000
計	3,530,000	3,081,142	448,858		5,930,000
1. 差引当期収支	1,200,000	1,467,867	267,867		397,000
2. 前期繰越金	853,649	853,649	0		1,291,130
3. (1+2) 合計	2,053,649	2,321,516	267,867		1,688,130
4. 尚和会積立金等繰入		1,030,386			
5. 尚和会積立金等取崩		0			
6. 次期繰越金		1,291,130			

【貸借対照表】(平成15年3月31日現在) (単位:円)

借 方	貸 方
現 金	359,400
普 通 預 金	3,355,038
定 期 預 金	10,095,692
定 額 貯 金	9,180,000
仮 払 金	175,000
合 計	23,165,130
預 り 金	1,674,000
尚 和 会 積 立 金	12,000,000
尚 和 会 事 業 積 立 金	8,200,000
次 期 繰 越 金	1,291,130
合 計	23,165,130

以上、報告いたします。

監査の結果、誤りのないことを報告します。

平成15年3月31日

平成15年3月31日

財務担当副会長 (高13期) 細川 和彦
会計 (高12期) 久瀬 恭子
会計 (高12期) 吉田 友子

会計監査 (高14期) 吉田裕理子
会計監査 (高16期) 秋山日東志

同期会報告

豊中高女一期生会 卒業六〇周年記念

幹事一同

日 時：平成十四年十一月十五日（金）

場 所：不死王閣

十一月十五日、お疲れさまでした。秋真っ最中のもみじの山をバックに、いい顔の集合写真をお届けいたします。

よくまあ！卒業六〇周年を迎えられたものです。見れば見るほど、なつかしく、一人一人がいとおいしく感じられます。生きること



のきびしさをいろいろくぐりぬけて、現代がある私たちです。これからは来年会いできることを目標にして、優しさの大安売りをしたり、美容にいいことはすべて実践？したりして、またいい顔でお会いいたしましょう。

来年は、セトさん、ムトウさん、ヨコガワさん、タダさん、よろしくお願いいたします。

高女四期生会

日 時：平成十四年六月一日（土）

場 所：リーガロイヤルホテル 梅の間

出席者：四一名

不順な日が続いていました。この日は快晴で、日頃の精進のお陰と四一名が集いました。会えば卒業後五

六年も経っていますのに、お互いに「ちっとも変わらない」と喜び合ってお話に花が咲きます。久しぶりに四国から出てきてくださった野村（旧姓・山岡）ミエさんが戦時中の空襲で防空壕に閉じこめられたことを



高四期卒業五〇周年 記念祝賀会

中右 吉信

母校を昭和二十七年に卒業して、ちょうど半世紀が経った桜花爛漫の四月、大阪リーガロイヤルホテルの大広間「山楽」で祝賀会を開催しました。恩師三名、新田校長先生をご招待して、総勢一四五名が集まりました。

かつて五〇周年記念事業として写真集を発行しようと計画していた鈴鹿常雄君が逝去して五年、彼が収集していた写真を映像化したのが今回のビデオ「母校の今昔」になりました。

まず、田中喜久三先生作詞、大北シズ先生作曲の「学生歌」を昔の風景映像の大画面とともに全員で斉唱し、特別企画、安田宏子さんのピアノ、中島昭典君のバイオリン、木村泰子さんの独唱の「歌の翼」で式典のオープニングを盛り上げました。

会食の後、在校生の協力でビデオ録りした「現在の校内寸描」で、授業風景、校内活動状況を校歌とともに紹介し、次いで「四期生思い出のアルバム」として、「第一部・在校時代」の四年間（併設中三年から高三まで）

を当時のアメリカン・ボツブスのBGMをバックに振り返り、「第二部・卒業後」の数々の同期会を往時の母校の玄関、講堂、恩露園、恵風苑などの風景写真を織り交ぜ、ハイテンポの岡町商店会音頭をBGMにビデオで放映しました。

最後は田中喜久三先生作詞、高島孝爾先生作曲の「応援歌」の斉唱で締めくくって、三時間の祝賀会が終宴となりました。

このビデオ映像は、当日司会・進行役をも務めてくれました松田祝三君率いる（株）サンライズ・プロバターの協力によるもので、コンピュータグラフィック手法を駆使した力作です。後



に、当日の式典の様子も取り入れて六〇分もののビデオに編集され、希望者に配布し、昔の母校を知る貴重な資料として母校にも寄贈をしました。もし、ビデオを希望される方は小川（六三二一八三五三）さんにお問い合わせください。

高九期四五周年 記念の集い

山田 朝広

去る平成十四年十一月十七日（日）午後一時からヒルトン大阪に於いて「九期会四五周年記念の集い」を開催しました。

開催に当たり、七月から準備を始め毎月一回の幹事会を実施し、合計四回の打ち合わせを行いました。会場については早い目に予約をしていたのですが、会費、料理、当日スケジュール、案内文書、出席者名簿の作成など詳細に打ち合わせを行いました。

東京支部の会合、旅行シーズンとも重なり予想に反しての四五人（男性二四人、女性一人）と少ない人数となりました。最初は名前と顔が一致せず多少緊張気味でしたが、時間が経つにつれ四五年前にタイムスリ



ツブしたかのように会話もはずんでいました。

四〇を過ぎると男は自分の顔に責任を持てと言いますが、白髪いっぱいの人の頭のうすくなった人、腹だけがぽこんと出ている人、それぞれ個性的な人生の重さを経験され貫禄もあり立派になられていることを実感しました。

スケジュールの途中定番のビンゴゲームを行い豪華な景品も用意しました。またホテルのご厚意によるペア招待の食事券が当たるといふことで番号の発表があることにお互いに番号確認を行い大いに盛り上がりました。また自己紹介の途中ある人が「ボケ防止七ヶ条」について一条から七条までコメントされ、七条について旅行



西井（福井）先生、内田先生を含め総勢一三名の参加

昨年十月十九日（土）卒業四〇周年と還暦祝いを兼ね、大阪東急ホテルに於いて同期会を開催いたしました。恩師の梅田先生、佐野先生、水田先生、

高三期同期会報告

世話人一同

継続は力という言葉があります。この九期会もいつまで続くかわかりませんが、できる限り続けていきたいと思っています。今回は五年後に開催することになります。全員元気で明るい笑顔で再会することを願ひながら終会することになりました。

に行くことでと強調されました。ちなみに私は旅行会社を経営していますと言われた時には大爆笑でした。最後に全員で校歌の斉唱を行い、昔の学生時代の気分がよびひたることができました。参加人数は少なかつたわけですが、家庭的な雰囲気の中で近況報告、昔の思い出話に花が咲き、大変盛況な会合でありました。



高一九期同期会報告

海老 一夫

三五周年を迎えた一九期

昨年十月十九日（土）卒業四〇周年と還暦祝いを兼ね、大阪東急ホテルに於いて同期会を開催いたしました。恩師の梅田先生、佐野先生、水田先生、

を得ました（近松先生は体調がすぐれず欠席）。仕事、親の面倒、孫の誕生、旅行などでやむなく欠席の方も多数おられました。働いていた大部分の人が今年三月までに定年になりましたが、今後とも損得に係わりがない男女に関係の無い（そういう年になってしまった）仲間として次の機会にも顔を合わせればと思っています。東京方面でも年一回以上同期で集まっており、大阪でも三・六会（ゴルフ）を年二回開催しており、すでに三〇回を超えております。同期の皆様におかれましては、今後とも健康に十分ご留意ください。では、また。

生の同窓会が二〇〇二年十一月二十三日、水田紀久先生、柳沢千吉先生、相沢昂先生、松宮達也先生を迎え、大阪市の大阪ヒルトンホテルで開催された。卒業生は五四三人（入学時は五五〇人）だったが出席者は男性三一人、女性三九人の合計七〇人。一九四八年、四九年生まれの団塊の世代で、五〇代半ばにさしかかったが、みんなはつらつとした様子で、すでにお孫さんに恵まれた方も。久々に口ずさむ校歌で先生方を会場に迎え入れると、一気に三五年前のキャンパスにタイムスリップ。恩露園や恵風苑での語らいそのままに、思い出話で盛り上がった。



桜塚高校19期会 35周年の集い

学園ムードいっぱいだった木造校舎での授業やクラブ活動、北九州への修学旅行の日々が懐かしく甦って



桜塚高校19期会 35周年の集い

二次会は場所を移し、カラオケ大会。肩を組み合せて「高校三年生」を合唱すると、少年、少女に変身していた。残念ながら参加できなかった一六〇余名からはがきも会場で閲覧された。「仕事と重なり」「親の介護で」「家業の都合で」「次の同窓会は出たい」など、桜塚への思いが託されていた。今回、出席されなかった近松淳一、倉田順雄、内尾ひで、佐藤宏明先生方からも元気なお便りが寄せられていた。しかし、残念なことの中

きた。同窓生らが持ち寄った品を分け合うビンゴゲームも好評だった。お歳を召されたものの、四人の先生方も桜塚時代の雰囲気そのまま。席につかれたテーブルへみんなが次々に顔を出し、笑い声が絶えなかった。

川輝英さん（三年三組）、一九九八年逝去。津島静香さん（三組）、梶調和さん（五組）、井上克己さん（八組）の三人は二〇〇二年に亡くなられたとのこと。ご冥福を祈ります。

今回は五年後の二〇〇七年の予定。還暦目前だが、また元気に盛大な同窓会を開きたいと思う。

高二〇期卒業 三五年記念同期会

柳井 真知子



私たち高校二〇期生は、

昨年の五月十一日(土)に梅田の新阪急ホテルにて、五年ぶりに第五回同期会を開催いたしました。

恩師、井上まさ先生、内田先生、長尾先生、牧先生、辻内先生の五名の先生方にお越しいただきました。井上まさ先生は、八〇歳を越えられているとは思えないほどお元気で、とても素敵なお話をしてくださり、同窓会とはいえ先生方にお会いできるのを楽しみにさえている友達もおり、皆とても懐かしく喜んでおりました。

さて、生徒のほうは七四名が出席し、それぞれに近況を語り合い、子供の時から孫の話へと話題が変わりつつ、早おじいちゃん、おばあちゃんになった人も多く、皆とてもいい顔になってきたなあと思いました。

それでも、時が経つにつれあの懐かしい楽しかった高校時代にもどり、肩をたたきあったり歓声をあげたりと、気持ちはいつまでも一八歳のまま。不思議なものでですね。

その後、あつという間の二時間が過ぎ、二次会にも大勢の人が参加し、阪急タミナルビル一七階のラウンジで美しい夜景を見ながら、残り時間を惜しみつつ話しておりました。

次回、五年後には、還暦近くになりますが、皆元気で出席できたらいいなあと思っています。

遠方から出席くださった方々、本当にありがとうございました。

またお会いするのを楽しみにしております。

高二期三年二組 クラス会報告

岡野 薫子

街を歩くと何処からともなく金木犀の甘い香りが漂ってくる十月五日(土)桜塚高校近くの「こんびら丸」に於いて、高校一二期三年二組の同窓会を男性一名・女性六名の出席のもと、開催いたしました。

今年六月に、ご逝去された旧友の武田君を偲び、皆で黙祷しご冥福を祈りました。長らくクラス会の世話役として尽力してくださったこと、心より感謝しております。

卒業以来四二年ぶりの懐かしい顔も交え、楽しく食事しながら近況報告をしました。昨年還暦を迎えた私たちは、定年退職を迎えた人も多く遮二無二走り続けてきた人生の一区切りを迎えはつと一息つき、過去を振り

り返りこれからの人生を考える転機にさしかかっております。今まで培ってきた経験をもとに新しく行政書士になられた人、会社をたたんで空気と水の美しい南の島での楽しい生活を着々と準備中の人、子供も独立し、新婚生活に戻った人、ますます若々しく先生を続けておられる人、事業発展に邁進されている人、趣味を極めている人などなど、生き生きとした旧友の姿に感心し、触発された感じが致しました。でもここいらでちよつとペースを下げてのんびり行こうとの結論でした。

話は尽きませんが、来年の同窓会での再会を約して散会しました。

卒業五〇周年記念 祝賀会に招かれて

旧職員 田中 恒雄

高校四期生の卒業五〇周年記念祝賀会にお招きいただき有り難うございました。久しぶりにお会いした方も多数おられました。どちらが先生か判らぬくらい立派になられた皆さんを見て、初めは驚いたり感心したりしていましたが、昔の面影は残っているもので、話している中に元気で明るくて少々やんちゃだった昔の姿が思い出されました。また幹事の方々のご尽力で、昔の校舎やハイキングなどのビデオ、「学生歌」や「応援歌」の斉唱など、懐かしさが込み上げてきました。

私は昭和二十七年五月に結婚しましたので、四期生の卒業五〇周年は私の金婚式の年にも当たります。また十二月には学校を辞めましたので、昭和二十七年は私にとつて大きな転機となった年であり、それだけに四期生の皆さんに対する想い出は、一入深いものがあります。

ところで私が中学校の国語の授業で教わったことの一つに「去る者は日に疎し」という言葉があります。年をとった今、格別に残る言葉ですが、五〇年経った今も、多数の四期生の皆さんから昔に変わらぬ丁寧な年賀状や近況報告を頂き有り難くまた嬉しく思うとともに、絆の深さを感じております。

同期会予告

高女一期生会

日時 平成十五年六月十七日(火) 午前十一時

場所 ホテル竹園芦屋

(JR芦屋駅すぐ前)

会費 六、〇〇〇円

写真は即日仕上げです。で、午前十一時三〇分までにお揃いください。

幹事 福田(セト)、立石(タダ)、石田(ヨコガワ)、武藤(ムトウ)

高五期卒業五〇周年 記念同期会

日時 平成十五年五月二十五日(日) 十二時

場所 ホテルアイボリー 十五時(受付十一時半より)

場所 ヒルトン大阪四階

金の間

(JR大阪駅前)

TEL 〇六―六三四七―

七二二一

会費 一二、〇〇〇円

高五期会 世話人代表

宮口一郎

高一四期還暦記念同期会

日時 平成十五年十月二十五日(土) 十四時

場所 ホテルアイボリー

(阪急宝塚線豊中駅前)

会費 五、〇〇〇円

(二年遅れの卒業四〇周年記念を兼ねた同期会です。詳細は後日ご連絡します。森野克也

高一五期卒業四〇周年 記念同期会

日時 平成十五年九月二十七日(土) 午後五時開宴

場所 ホテルモントレ大阪

(JR大阪駅西徒歩約五分)

会費 一〇、〇〇〇円

出欠は同封のハガキで、六月三十日までにご投函ください。

会長 大島光昭

高二五期三〇周年 記念同期会

日時 平成十五年九月十三日(土) 午後一時

場所 ホテルアイボリー 案内状後日配布いたします。

幹事 小合孝子

高三〇期二五周年 記念同期会

秋頃同期会を予定しています。

詳細は後日案内状を配布いたします。

幹事 加藤完二

定一三期卒業四〇周年 記念同期会

本年は懐かしい母校「桜塚」を卒業して四〇周年の佳節を迎えることができました。そこで、今秋十月に同期会を予定しております。詳細は後日ご案内します。

幹事 小畑、中岸

各期の幹事

必見！

財務担当副会長 細川 和彦

「同期会開催支援奨励助成金制度」について各期の皆様に周知していただくため、前号の会報と同じものを再度掲載します。

一、目的

新世紀に向けて、新生尚和会を構築し、創造的な事業活動を展開するために、同期会の活性化に取り組む

尚和会会報有料制について

財務担当副会長 細川 和彦

今お読みの尚和会会報は有料制です。

●名称 会報年会費

- 年会費 1,000円（同封の払込用紙にてお振込み下さい）
払込用紙紛失の方は 口座番号00930-3-31860
加入者名「尚和会」宛お願いします。

●会報発送対象者

卒業年	卒業期	会報発送期間
平成15年	高55期 定53期	平成15年から5年間平成19年迄
平成14年	高54期 定52期	平成14年から5年間平成18年迄
平成13年	高53期 定51期	平成13年から5年間平成17年迄
平成12年	高52期 定50期	平成12年から5年間平成16年迄
平成11年	高51期 定49期	平成15年のみ
平成10年以前	高50期 定48期以前	毎会計年度末（3月31日）を年会費納入期限とし、会費納入者に対し、次年度のみ会報を発送。

必要がある。その意味で、同期会の開催を支援、奨励する目的の制度である。

二、助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業五周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会が右記の周年でなくても助成金を交付する。

三、助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

四、申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会

尚和会通信

会長 田中 渡

一、尚和会会報の無料配布

（卒業後五年毎）新設

無料配布対象期

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付する。

目的・理由

会報有料制は、約二万人にも及ぶ無料配布の結果財政が逼迫し、やむなく採られたものであります。これを機に多くの会員の方が危機を認識され、それ以降会費・協力金が増加し毎年プラス収支に転じることができました。

一方、会費納入を一度忘れられるとそれ以降会報が發送されなく、尚和会の先細りの懸念が生じはじめました。これを防ぐ手段の一つとして、財政の許す範囲という条件付きで今回より実施するものです（効果が無ければ、見直すことになります）。

お願い

会報有料制は引き続き継続されますので、無料配布

に当たる期の方も、会費・協力金は引き続き宜しくお願いいたします。

また、ちょうど各期が五周年単位に当たる年の五月に、その期に対し会報が無料で送付されますので、「同期会開催予告」として二月末までに会報の原稿を寄せていただければと思います。

二、視聴覚教室に冷房機設置

学校週五日制度が発足して一年、巷では学力の低下が懸念されています。我が母校桜塚高校ではその対策として、夏期休暇中に補習授業の充実をはかることになりました。しかし、普通教室には冷房設備がなく授業の効率を高めることが難しい状況です。生徒諸君が勉学に励むことができるよう快適な環境づくりをめざして、空調設備の施工を決定しました。費用約三〇〇万円は母校PTAと共同負担です。なお、このような助成は豊中高校や北野高校で既になされています。

三、クラブ活動に朗報!!

報奨金制度発足

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会にて優勝またはそれに準ずるものとします。過去には野球部や定時制のサッカー部が記憶に新しいところで

尚和会の活動をホームページでみられます

桜塚高校のホームページの中で同窓会をクリックすると尚和会の活動報告をご覧いただけます。

桜塚高校のホームページの次のアドレスです。

www.osaka-c.ed.jp/sakurazuka/z/



各 期 連 絡 先											
期 氏 名 電 話			期 氏 名 電 話			期 氏 名 電 話			期 氏 名 電 話		
女1	越 水 ユ リ	06-6852-8755	高20	郡 守 男	079-565-2627	高47	大 西 順 子	06-6391-8404	定23	豊 隆 司	06-6843-2771
女2	北 川 富美子	0798-74-3024	高21	山 本 登志恵	06-6924-3544	高48	佐 藤 崇 広	06-6392-0302	定24	日紫喜 富 美	
女3	森 玲 子	06-6863-5125	高22	平 本 裕 一	06-6855-2614	高49	富 田 賢 次	06-6334-4372	定25	大 町 裕 次	06-6862-7083
女4	永 井 徳 子	06-6942-1968	高23	後 藤 保 二	06-6373-7380	高50	中 田 伸 吾	072-753-2609	定27	稲 井 幸 雄	072-728-0955
女5	加 藤 恵 美	06-6872-6248	高24	梅 田 純 子	06-6329-6309	高51	井 上 史 臣	06-6864-8062	定28	真 下 保	06-6385-6190
女6	青 木 操 子	06-6843-2552	高25	小 合 孝 子	06-6855-3604	高52	小 路 亮	072-751-7661	定29	寒 川 悟	06-6607-0580
女7	黒 田 長 子	06-6854-5432	高26	金ヶ江 裕 之	06-6852-1224	高53	松 下 優二郎	06-6309-2015	定30	大涯地 みゆき	06-6333-5761
女8	中 村 陽 子	06-6844-1570	高27	戸 田 緑	06-6875-7718	高54	片 岡 雄 介	06-6845-5202	定32	市 村 孝 浩	06-6841-0416
高1	安 達 良 子	072-721-3901	高28	市 田 隆 士	0595-52-0715	高55	正 月 聖 児	072-753-3653	定34	清 水 美 佳	072-761-3323
高2	菊 池 芙 美	06-6852-4117	高29	山 沢 健 二	06-6399-7677	定1	吉 本 喜代子	072-722-2075	定37	渡 部 二 郎	06-6863-0058
高3	谷 田 探 成	06-6314-0550	高30	木 村 慶 子	06-6853-9213	定3	上 田 孝 彦	06-6853-2162	定38	中 村 保	06-6332-7703
高4	中 右 吉 信	06-6855-5372	高31	榎 香世子	06-6393-7216	定4	府 上 恵 二	06-6852-7122	定39	森 本 真裕美	06-6849-7859
高5	宮 口 一 郎	06-6852-4859	高32	浜 辺 伊都子	06-6866-6789	定5	橋 本 昌 員	06-6854-0234	定41	奥 田 康 弘	06-6388-7339
高6	北 まち子	06-6865-3131	高33	池 本 清 人		定6	木 田 隆 幸	06-6864-2452	定42	菊 永 以 言	06-6853-6044
高7	中 川 光 昭	06-6332-0276	高34	山 口 誠	072-894-1848	定7	都 倉 昭 次	0797-84-7663	定43	山 田 辰 典	06-6333-1785
高8	森 田 司 朗	06-6872-3329	高35	川 嶋 道 代	072-729-6099	定8	田 邊 昭 夫	06-6843-0952	定44	大 塚 俊 二	072-762-7873
高9	安 浦 杲	072-737-0068	高36	安 藤 昌 博	06-6832-7930	定9	大 谷 収	072-844-2311	定45	大 塩 昇 司	06-6331-5766
高10	唐 渡 吉 則	072-752-4548	高37	高 崎 建 治	06-6623-6801	定11	永 井 敏 輝	06-6852-0333	定46	岡 田 智 寛	06-6333-5996
高11	吉 田 和 久	06-6857-0352	高38	堀 田 繁	054-248-8078	定12	笹 部 修 造	06-6852-0475	定48	野 口 光 弘	06-6393-3669
高12	斎 藤 嘉 明	072-738-4647	高39	須 崎 康 広	072-752-6441	定13	中 岸 澄 江	06-6843-5737	定49	大 鳥 正 登	072-761-1036
高13	細 川 和 彦	06-6849-6879	高40	堂 前 直 子	06-6336-7265	定14	杉 本 土 生	072-728-1497	定50	宮 本 透	072-721-4719
高14	佐 藤 勝 哉	06-6854-0095	高41	坂 口 大 介	06-6303-4831	定16	森 島 作 蔵	06-6857-6219	定51	徳 留 三 香	06-6866-6994
高15	大 畠 光 昭	06-6841-8135	高42	谷 尾 紀 江	048-946-3601	定17	前 田 政 治	06-6855-8451	定52	安 富 康 太	06-6852-5774
高16	中 務 公 子	06-6858-4509	高43	横 尾 さち子	06-6854-0026	定18	中 島 健 二	072-722-8153	定53	山 下 武 徳	06-6857-3239
高17	福 本 育 馬	06-6333-6636	高44	倉 谷 実	06-6302-2184	定19	飯 田 悦 弘	06-6855-3440	修1	矢 野 和 美	090-1904-0180
高18	北 川 悟 司	06-6843-1336	高45	田 中 英 二	06-6395-7828	定21	児 玉 幸 子	06-6862-1946	修2	能 勢 優 紀	06-6841-2919
高19	奥 田 敏 輝	06-6843-9397	高46	諏 訪 宏 和	06-6351-8754	定22	西 田 惣 一	06-6850-2955	修3	畠 山 貴 徳	072-728-1150

お便りから

旧職員 陰山 昌雄
尚和会の更なる発展を祈
念致します。

旧職員 小野 緑
会報ありがとうございます。
楽しく拝見しました。
お世話になりました。
ございました。

高女二期 内藤 純子
寒中お見舞い申し上げます。
す。本年もご苦労をかけま
す。驚く寒さが老骨を直撃、
せて気力だけでも…とネ
ジを巻いています。

〇老成を遂げざるままに
（老醜とのたたかい）に
今挑まんとす

〇恋猫の声に朝寝の婆目覚
め恋に無縁の今日が始ま
る

高女二期 丹田 寧子
いつも会のために心遣
い頂き有難うございます。
どうぞ少額ですが、よろし
くお願い申し上げます。

高女二期 近藤 英子
時候不順にて体調あまり
良くなく困っております

が、何とか頑張つてつとめ
て居ります。

高女二期 中村 徳子
尚和会の御発展を祈つて
おります。色々と御苦労様
でございます。感謝致して
おります。

高女二期 佐野 繁三
（旧姓・西川栄規能のご主人）
妻・栄規能は三月五日永
眠致しました。生前は大変
御世話になり有難う御座居
ました。

高女三期 川口 濱子
・皆様の御蔭で毎年なつか
しい母校とつながって有
難いです。
・三つの鐘を前にした朝礼
である日新入学の朝鮮貴
族高さんの紹介があつ
た。初めてのことで忘れ
られない印象を受けたが
その後、お会いすること
のないまま時代が流れて
時に同窓の方々によせて
も安否が気遣われる。豊
女の想い出は戦争と共
ではあるが、校舎のパス
テルカラーで夢の様な幕を
開く。佐々先生始め皆々
様御世話様になりました
し、お元気で会いしま
しょう。

高女三期 俣野 加代

会報の表紙は何時もなつ
かしい校舎や恵風恩露園等
とても楽しみに心待ちにし
ています。五年間の思い出
がギュッとつまつていま
す。会報をとどけて下さる
お世話の方の皆様、有難うご
ざいます。

高女四期 中島美恵子
御世話になります。所用
で今年は同窓会欠席いたし
ましたが来年こそはと楽し
みに致しています。

高女四期 勝野 瑤子
十一月十七日に東京支部
総会をされるとの事、何と
か出たい気持ち一杯ですが
当日実家の母の命日であ
り、今のところどうなるか
不明です。

高女五期 武田 祥代
何時もお世話になり有難
うございます。会報はなつ
かしく楽しみにしていま
す。

高女五期 林 道子
尚和会の会報を御送付い
ただきありがとうございます。
した。母校の発展と活躍を
祈っております。

高女六期 下村 和子
遅くなりましたがよろし
くお願い致します。毎々、

お世話になりました。ありがとうございます。

高女八期 小澤 澄子

私共（高女八期と高二期）、昨日十三・六・五（六、古希記念一泊同期会をもちました。毎年昼食会のみで一泊は還暦の時以来二度目です。五〇名の参加で、有馬グラウンドH一泊、翌日はバスで表六甲へ廻り、オルゴール館等見学後、六甲オリエンタルHで昼食、ゆつくり歓談後、関東へ帰る人を新大阪駅まで送って別れとしました。

高三期 江坂 義子

いつもお世話になりました。ありがとうございます。よろしくお願い致します。

高四期 吉野智恵子

いつもお世話になりました。有難く感謝しております。

高四期 加藤 美子

高四期、卒業五〇年記念同期会も盛会裡に終わり、「古希」とは程遠い感じの若々しく元気な皆様にお会い出来まして感無量でございました。当日の記念ビデオ・テープ、繰り返し楽しんでおります。またお会い

する日まで、皆様どうぞお元気です!! ありがとうございます。

高四期 増田 明子

いつも会報を御送付いただき有難うございます。四月に卒業五〇周年の祝会に出席でき、なつかしい同級生に会えて嬉しかったです。

高四期 小川 尚子

桜の頃の十四・四・十四、少し趣をかねての卒業五〇周年同期会は、出席者に感動を、そして当日の盛況をおさめたビデオと余韻で盛大な記念祝賀式となりました。

高五期 秋田 良子

いつもお世話さまです。会員名簿も受けとりました。今後ともよろしくお願い致します。

高五期 山本隆三郎

現役で頑張っています。尚和会の益々の御発展を祈っております。

高六期 横山 新

七月四日現在は三井住友海上保険の方にお世話になってます。卒業以来フェンスに往時の面影を残す母校の構内に入ったことはあ

りませんが、今回の表紙の恵風園、恩露園は懐かしいです。

高七期 六島 宏

最近連絡がありません？年をとると忘れやすくなり、口座番号も控えていません。時には連絡を……!!

高七期 紀伊 滋子

いつもお世話になりました。ありがとうございます。

高七期 泰井 祥吾

尚和会の発展を願っております。

高七期 富岡 徹

会報二〇〇三を待望しています。昔は昔、今は今の生活です。

「狭き庭梅りんりんとして二輪咲き」

高七期 仁木 悦子

住所氏名空白の払込票を同封して会報が届いていない方へ宣伝するようにしては如何でしょうか？

高九期 伊藤 淳子

尚和会会報、有難う存じます。

高二期 福井 澄栄

高二期の田中渡会長、吉田和久副会長殿、二年間

がんばってください。

豊中美術協会展で鶴崎先生の日本画を拝見し、なつかしさで一杯でした!!

高三期 中川 慶子

母校の発展をお祈りしております。

高一四期 山本 文代

昨春秋、井上まさ先生に久しぶりにお会い出来本当に嬉しいでした。先生のますますの御活躍をお祈りします。

高一五期 大畠 光昭

一〇ヶ月の献身的な奥様の甲斐もなく、刀禰賢君は本年一月九日逝去されました。同期会ではいつもユニークなパホームンスで皆を笑わせ、こよなく酒を愛し、毎年、愛妻との海外旅行を楽しんだ彼でした。ご冥福をお祈りします。

高一六期 渡邊 源治

一六期の皆さんお元気ですか! もうすぐ六〇歳ですががんばりましょう!

高一九期 太田 芳司

息子が三年間お世話になりました。大学にも無事入学出来ました。先生方本当にありがとうございます。

た。

高二〇期 坂本 洋子

過去の総会の出席人数はどれぐらい（何名の方が参加？）でしょうか。

高二七期 神永 恵子

いつもありがとうございます。

高三三期 菊川 雅之

卒業生（三三期）の秋山鉄さんが活躍されています。

高三三期 多田 恭之

いつも会報を送っていた下さりありがとうございます。

高三六期 村上佳津子

高三期の皆様へ。いつも父は尚和会総会や同窓会には楽しそうに出かけていました。きつと楽しいお友達がいっぱいいらっしゃったからだと思います。良い時間を、ありがとうございます。

高三六期 吉田 豊

もう何年も母校に遊びに行ってますが、どんな感じになっていきますでしょうか。

高三七期 松下 和子

高十四・五月現在、中一・小五・小二・九ヶ月の三男一女の母となりました。もう中一の息子には背も体重もぬかれています。三七期の皆様お元気ですか？

高定七期 佐々木好一

青春の香り、何時も御送付ありがとうございます。

ワクワクする記事、ドキドキする記事、新しい情報がたくさん載っており毎号楽しみにして読んでいます。

私にもあった若かりし頃の甘酸っぱいものが満たされ、懐かしい思い出が胸に甦って来ました。これから素敵な紙面を頑張ってください。



平成十四年度
会報年会費協力金

◆協力金をあがりとございます◆
(金額は納入合計額。千円未満の納入会員は省略させていただきます。)

●旧職員

五万円 武井錠一(遺族)
一万一千円 岡崎博哉 金野守
倉田順雄
一万円 関谷茂紀 白銀茂夫
六千円 飯尾和義 寺本敏夫
富山敏郎
五千円 赤羽根充男 谷口光子
石橋勘一郎 田中恒雄 鶴崎熊太
伴野彰子 水田紀久 山本弘
山本俊雄 小野緑 山本昌雄
四千円 内田彰 陰山昌雄
迫田茂 高岸芳郎 中村恵
永瀬弘勝 平田温子 石橋三彦
宇野仁策 柳沢昂 山本孟
千円 中田和子 向達督
関節子
千九百九十九円 杉木勝磨
千円 荒木正雄 井上まさ
井上馨 木元佳子 京彰彦
行徳康一 沖千鶴 田村修二
福田喜代志 長尾和榮 仁田尾調子
富井隆美 宮西重久 森本未知子
長石敦

●高女二期

一万一千円 塚田京子 越水ユリ
五千円 斎岡米子
四千円 武藤千代子
四千円 横谷春子 富田富美子
橋本磯子 横谷美奈子
三千円 塩谷明子 砂川碧
中村徳子 高木春子 福田英子
内藤純子 樋口由貴恵 根本規子
矢野鈴子 中島文子 根本君子
二千円 藤原美代子 二宮愛江
中野泰子 近藤英子 松井敏子
清水夫美子 有馬佐和子 丹田敏子
滝せつ子 阿曾久子 岡本千代子
千円 川原由多子 安孫子恒子 富田睦美
多谷エイ子 福田せつ 吉本純子
東野千鶴子 北江淑 藤田初枝
平野和子 金津芳子 高見澤綾子

●高女二期

四千円 北川富美子 酒井佐枝子
三千円 藤井寿子 下田喜代
有末博子 神保和子 峯田道子
佐野栄規能 別所陽子 前田房子
樽谷君子 矢田部弘子 龜本正子
二千円 角山和子 佐藤陽子
村田幸子 君塚節子 友真さほ
伊藤千恵子 岡村純子
村上てふ子 森幸子 森山和美

●高女三期

六千円 若松栄 高木志摩子
四千円 松溪彰子 桑山真子
三千円 岸上道子 門川田鶴子
井上百合子 竹中和子 西原成子
西村照子 武田昌恵 森玲子
小倉澄子 川口濱子 和田啓
古澤幸子 菅野万喜恵 佐藤春
浜田綾子 猪瀬綾子 佐伯栄子
千円 鳴海靖子 杉本鈴
保野加代 新田橋恵 吉野良子
森玉子 門律子 古川寿美江
大古谷子 出口和子

●高女四期

一万一千円 永井徳子 小林三七子
五千円 大江悦子 池田茂登代
四千円 佐藤芳子 長岡利子
三千円 三原節子 朴木明石
二千円 上田満智子 稲益智恵子
岡田貞子 高木三和子 池長十三子
高橋田鶴子 大橋利子 三箇山政
勝野瑞子 加藤愛子 中島美恵子
千円 渡辺順子 多田光子
清水安子 津田静子 河村令子
広谷晴子 田畑照野 佐野加岳
藤原秀子 津川敏子 岩田洋子
三戸敦子 河合貞子 明田清子
山田照子 森田みどり 黒川早苗
島村幸恵 田内弥生 清瀬郁子
桑原茂子 古銭孝子 高山道子
田口慶子 森田昭子 南園
美座喜子 富樫弥生 三谷良子
富樫弥生 三谷良子 桑江美紗子
豊田佳子 藤宮寿子 中野昭子
岡部佳子 高崎つた 杉原美子
西山延子 戸根愛子 桐山康子
栗原和子 本多千代子 守分康子
森本和子 徳力綾子

●高女五期

六千円 西川良子 巽和子
四千円 井上敏子 土山悦子
五千円 羽間美佐子 行岡伸子
四千円 土山悦子 北村嘉子

●高女六期

四千円 青木操子 角川和子
下村和子 八田久美子 森妙子
堀川隆子
三千円 大森英子 太田垣準子
東峯孝子 古澤純子 指尾千枝
岡村博子 大植和子 長山千加
鷺見マヤ子 藤木典子 周産年
野崎悦子 毛利克子 島田陽子
石黒純子 馬場文子
赤沢満子 野田美代子 沢崎洋子
高木寿子 渡邊恵子

●高女七期

三千円 出口珠子 黒田長子
二千円 上平寿恵子 富田恭子
歌橋淑子 衣川全子 森脇晴子
宮本博子 安井初美 石田マリ子
渡辺良子 中村まり子 加茂房子
千円 吉久保美都里 進藤鈴代
田中睦美 今治禮子 河内洋子

●高女八期

六千円 熊谷朝子 岡崎ひな子
四千円 川端安世 山本博子
三千円 山本博子 澤田貞子
森田光子 三井須美子 荒木幸子
小澤澄子 鶴岡律子 駒井香英子
木本都子 大岡いづ子 大野富士子
中村陽子 中井輝子 紫藤芳子
三木幸子 木下千代子 小島京子
千円 新妻朋子 矢口里子 桑木千鶴子
千円 木方嘉子 石田芳江
滝本佳代子 清水慶子 岸本寛久子
国方寿美子 鈴木喜代子 小川道子
中務重子 田内常子 賀須井幸子
高橋重子 西羅千里 浜田知子

●高女九期

四千円 西羅千里 浜田知子

●高女十期

二千円 池永敏江 星野寛子
安達良子 平野敏代 山口栄子
千円 本山美智子
●高二期
四千円 阿萬紀美子 石毛納子
三千円 太田靖子 前田暢子
菊池美美 久野慶子 今井篤子
二千元 井上明子 獅山英子
大竹多摩子 廣田智恵子 西田満千子
田中由子 大久保緑 石原綾子 花井登志子
大塚淑子 淡輪美津子 岡澤敦子
八木信子 増田トシ子 加藤しづ子
市川雅子 小川栄子 岡澤敦子
千円 徳田八重子 宮野信子
宮野信子 荒木真智子 永澤登喜子
武田祥代 林道子
千円 大都城和子 野村道子

●高三期

一万一千円 上田英之助 谷田探成
六千円 高津弘 村上松子
五千円 山脇千代子 赤崎豊
四千円 西村進 長谷川春生
上田茉莉子 江坂義子 中村千穂子
三千円 佐々木義浩 鈴木裕子
小村典子 西村真喜子 清水ゆり子
高木慶子 西村真喜子 赤城左知子
柳裕子 春木和枝 寺門良子
増山和子 三好陽子

●高四期

一万一千円 林正宏 中右吉信
六千円 井上博補 萩原和子
五千円 杉山直弘 高木力
四千円 谷口明子 水川和子
三千円 池崎邦夫 槐島靖夫
角田輝雄 原茂雄 三輪三郎
伊藤慶子 桂田久仁子 宮永加陽子
釜池慶子 小林郁子 小川尚子
横道満子 小口百子 安田宏子
山本一子 木下成子 奥田関子
奥村嘉寿子 工藤武敏 釜谷信弘
湯浅温 渡部進 塩野美知子
大田昌子 北野定子 西村澄子
木村泰子 木村泰子 兵頭恵美子
枝松美重子 溝口汪子 東島公江
須賀野朝子 岸本輝子 加藤美子
山田笑子 中川恭子 本宮八重子
吉野智恵子 増田明子 川上繕子
田村明子 綾俊也 岡村英雄
千円 三田和弘 中島昭典 植田泰子
山本短子 安田正江 笠原淑子
荒川長子 内藤康子

●高五期

六千円 岩崎幸夫 上田政国
大槻和夫 竹村忠一 林達雄
毛利正幸 北之坊英美子
佐藤良子 瀬尻修三 永田俊夫
四千円 長谷川陽一 山本隆三郎
伊藤恭子 白井菅子 細野善三郎
三千円 田中義輝 梁木圭子
井手瑞子 島田恵子
山本璋子 植田安寛 黒山義明
二千元 中西淑 梶浦節子 松原素子
盛野安子 名村ちづ子 武土田昭子
千円 岩永多賀 小原一郎 亀井時男
松浦欣也 宮本潤 宮口一郎
小野冬子 橋本喜久子 森智鶴
児玉雅子 鹿野順子 秋田良子
浜崎啓子 村上美智子

●高六期

一万一千円 荻野哲男 高川順吉
一万円 一色貞輝 西岡茂和
六千円 奥田泰之 塚尾茂治
五千円 横山新 中田雄二
四千円 澤田作哉 北まち子
三千円 森伊佐子 並河智恵子
和氣伸夫 奥田滋子 長岡美津子
奥田滋子 長岡美津子
二千元 金原正展 小塩正人
西原幸子 大塚禮子 辻宥子
千円 二井内貞壽 藻井泰顕
吉井一雄 生富節子 宇波久子
長谷川由里子 菊川牙子 多崎貞子
鷺見美千子 中西美知世

●高七期

一万円 岡本修 井上真一
六千円 雨田忠義 山下真一
五千円 瀬尻圭四郎 長澤久之
四千円 川崎光康 林下由美子
三千円 磯京子 佐藤二郎
二千元 今西晋 大西千枝子
松浦峻 六島宏 小門睦子
大垣磨知子 北川弘子 島袋博次
本万喜子 中田敦子 堀江哲郎
長澤佑吉 泰井祥吾 稲垣瑛子
森田千加子 仁木悦子 掛川ミシミ
池田路子 岡信子 中野千鶴子
紀伊路子 畑満子 中山弘子
千円 野村敏子 畑満子 中山弘子
千円 中井喜信 山田一眺 宮津満男
吉村忠義 宇都宮玲子 小西民子
今枝和子 原田秀子

●高八期

一万一千円 森田司朗 谷茂男
一万円 若高安宏 河村勝
六千円 若木美知子 梶浦令子
五千円 宮武健次郎 渡部明彦
岩藤雅子 佐藤雅子 松井崇
二千元 藤本芳子 川名満江
大内雅子 神田二三 玉城照久
千円 野田寛 林義昭 森本行俊
渡辺誠三 新本利子 富田康子
野口雅津子 池田征子 阪本和子
新内明子

●高九期

五千円 河崎守男 古川智昭
村三喜男 安浦果 上野由美
四千円 中山捷男 中村清嗣
山本潔 味舌純子 加藤敏子
森寿賀子 美作純古 山手章子
乙政久子 倉内知恵子 門河浩子
西村喜美子 滝澤光子 伊藤淳子
竹居恵子 渡辺歌子 鶴田紀子
福原淑子 峯村明子 大川和子
千円 市村昌子 森貴久子 岡安操
藤田裕代 植田京子 井ノ口常子
仁科照子

●高一〇期

五千円 小塩守 柴草慶一
四千円 三上昌昭 小林謙一
三千円 山口寿三枝 山田宏子
千円 先川照子 山上悦子
小笹喜久子

●高一二期

一万一千円 田中渡 吉田和久
五千円 斎藤良和 山家雄三郎
四千円 福井澄栄 玉田成男
三千円 竹中功行 泰雄三郎
女川隆 吉村久伸 南みち子
中城弘子 東野肇 岡野薫子
清水房子 渡辺雅子 山際智賀子
小淵祥子 高橋博子 庄司文子
千円 下司二郎 坂井岑嘉 久米健雄
高橋吉郎 西川昌平 岡加代

[illegible]

平成十四年度総会

行事委員 柳井真知子



昨年の総会（五月十九日（日）於ホテルアイボリー）でのアトラクションは、笑福亭仁勇さん（本名・山澤健二・二期生）の大道芸で、南京玉すだれとバナナのたたき売りをとても楽しく、にぎやかに、楽しませていただきました。そして真田豊実さん（三期生）のマジックでは、世界で一人しかできないカードさ

ばきをあざやかに見せていただき、私たちの後輩がこのような各界で活躍して頑張っている姿にとっても感動しました。ここ数年、卒業生の方々によるアトラクションが続いておりますが、今年も幸田聡子さん（四期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。



「第三回 尚和会東京支部総会・懇親会」

二〇〇二（平成十四）年十一月十七日（日曜日）
尚和会東京支部 支部長 井上 眞一（高七）



隔年開催の支部総会・懇親会もはや三回目となり、東京御茶の水の「東京ガーデンパレス」にて開催されました。参加同窓生は約五〇名を数えました。卒期別では、高女四期（一名）・高三・四期（三名）・高七期（二五名）・高八（二期）（五名）・高一三期（四名）・高一七・二五期（五名）・高二七期（六名）となりました。今回も支部活動のモットー「同期会の開催により同窓会の輪を拡げよう」に

呼応して、高女四期（前回に増しての参加者）・高七期・高二七期など同期会の併催も実現しました。今後もこのように、少しずつでも同期会の同時開催の輪が広がれば、それが支部活動の活性化に直結するものでありますので、今回お一人、二人での参加の卒期の方々も、次回はお誘い合わせの少しでも多くの方々のご出席をお待ちしています。

本年は母校桜塚高校および尚和会本部より、いずれもご新任の、長瀬尚校長と尚和会田中渡会長をお迎えしました。（吉田副会長もご出席）二十一世紀に入り二年目、校生のキヤンパス生活にも、国際化、情報化などの状況変化の波が打ち寄せているようで、校長先生から、卒業旅行も初の海外行が実現するなどのお話がありました。「これからの厳しい時代、先見性を身につけることも大切だが、そのためには（人とのつながる力）を身に付けてほしい」という先生の在校生へのメッセージは、そのままOBにとっても考えさせられる言葉ではないでしょうか。新任の田中会長から

は、唯一の支部である、この支部の活性化が、尚和会の発展につながるものなので、「同期会開催支援助成金制度」の活用などにより、関東地区の同窓会の輪を拡げてほしいとの激励のことばも頂きました。懇親会では、アトラクションとして、今回も三回連続しての同窓生の出演が実現、高二三期卒業生・西畑正三さんのフルート独奏が好評でした。支部としては今後とも同窓生の出演を続けていく方針です。色々な分野でご活躍の同窓生の情報をお寄せください。参加者の近況報告では、趣味の分野で高い評価を受けられた高女の大先輩のお話や、英会話の勉強で海外へと夢を馳せる方々などチャレンジ精神旺盛な同窓生の熱気満々の集いでした。これからはますます「人とのつながり」が大切な時代となります。「同窓会」は参加することに意義があります。これから支部の在り方は「同窓生が集い、語れる機会と場作りおよび新しい同期会が一つでも多く生まれる基盤づくり」を目標と致しますが、支部運営にもそろそろ新しい息吹きの必要性を感じております。本部におきまして、世代交代がスタートしております。卒一〇期以降の方々の運営への参加を切望する次第です。終わりに、今回

編集後記

昭和二十八年に第一号が発刊された尚和会会報。あれから半世紀が経ち、今年で五一号目。創刊当時は新聞紙大の四ページ。その後、一回の題字、サイズ、紙質の変更があり、表紙や写真の一部がカラー化され現在の一六ページの広報紙になりました。

一〇〇号記念誌を目指し、表紙を新しく変えてみました。桜塚高校の学び舎を巣立った同窓生の輪を拡げ、交流を密にする。その中で気の合った仲間たちがさらにガッツリと一つの輪を作り、趣味、ビジネスと、育んでいただければと考えております。広報担当として最初の会報、いかがでしたか。ご意見等お待ちしております。

も多くの同窓生（二二六名）から支部へのお励ましとご協力金を賜りました。支部を代表して厚くお礼申し上げます。

◎次回・第四回は平成十六年度開催となります。来年度会報にて日時・場所をお知らせします。

支部連絡先
〒二五三〇〇五三 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北三十五―二七
東京支部長 井上 眞一
TEL・FAX
〇四六七―八三一―四〇四